



ベーリング期	13,000-12,000bp	温暖湿潤
オールドドリユアス期	12,000-11,800bp	寒冷乾燥
アレード期	11,800-11,000bp	温暖湿潤
ヤンガードリユアス期	11,000-10,000bp	寒冷乾燥
		夏の気温低下
プレボレアル期	10,000- 8,800bp	冷涼乾燥
		農業の開始
ボレアル期	8,800- 7,600bp	乾燥
アトランティック期	7,600- 4,500bp	温暖湿潤
サブボレアル期	4,500- 2,500bp	温暖乾燥
サブアトランティック期	2500bp-	冷涼湿潤

突然の寒冷化、乾燥化による生活環境の悪化

生存戦略としての農耕・牧畜

人類の生存戦略：コムギやオオムギ、レンズマメやエンドウ豆などの豆類  
の栽培

ジェリコ・アスワド・アブ=フレイラ・アリ=コシュなど

同時に自然環境破壊

後氷期の気候は一定ではない

過去 5000 年間に 12 回もの温暖な時期と寒冷な時期が繰り返し現れている。

シュメール極大期	2710-2610
ピラミッド極大期	2370-2060
ストーンヘンジ極大期	1870-1760
エジプト極大期	1470-1260
ホメロス極小期	820-640
ギリシア極小期	440-360
ローマ極大期	BC20-AD80
中世極小期	640-710
中世極大期	1120-1280
シュペーラー極小期	1400-1510
マウンダー極小期	1640-1710
現代極大期	1780-